

宮農経済トピック 臨時号

No.650-2(2021.1.7)

台風や低温、高温等により農作物・農業施設等への影響が心配される際は臨時号として発信しています。

暴風雪と大雪に係る農作物等の被害防止について

関東農政局生産部生産技術環境課より、標記の件について注意喚起がありましたのでお知らせします。

気象庁の予報（1月6日）によれば、7日から8日朝にかけて低気圧が急速に発達しながら、日本海から千島近海へ進み、その後9日頃にかけて日本の上空に強い寒気が流れ込み、強い冬型の気圧配置となると見込まれています。

7日は全国的に風が強まり、7日から8日にかけて北日本と東日本から西日本の日本海側を中心に非常に強い風が吹き、大荒れや猛吹雪となるおそれがあると予想されています。特に、7日から9日頃にかけて、北日本から西日本の日本海側では平地も含めて、太平洋側では山地を中心に大雪となるところがあり、太平洋側の平地でも積雪するおそれがあると予想されています。

以下の資料を参考に、農作物等の被害防止対策を徹底しましょう。

1. 積雪及び寒害に伴う農作物等の被害防止に向けた技術指導の徹底について

（令和2年12月7日付け2生産第1553号農林水産省生産局農業環境対策課長、2政統第1564号同政策統括官付穀物課長連名通知）

https://www.maff.go.jp/j/seisan/kankyo/attach/pdf/gijyutu_sido-117.pdf

2. 大雪による園芸施設被害の防止に向けた技術指導の徹底について（平成30年10月30日付け30生産第1395号農林水産省生産局園芸作物課長通知）

https://www.maff.go.jp/j/seisan/kankyo/attach/pdf/gijyutu_sido-73.pdf

3. 「農業技術の基本指針」（令和2年改定） https://www.maff.go.jp/j/kanbo/kihyo03/gityo/g_kihon_sisin/r2sisin.html